

平成 24 年度（後期）「到達目標型教育プログラム（主専攻プログラム）評価アンケート」実施要綱

1. 実施目的

広島大学は、学生に充実した教育を施すことを重要な使命としている。大学教育の質を確保するためには、計画(PLAN)、実施(DO)、評価(CHECK)、改善(ACTION)を繰り返す PDCA サイクルを構築することが重要な課題となる。「到達目標型教育プログラム（主専攻プログラム）評価アンケート（以下、「プログラム評価アンケート）」は、この PDCA サイクルの中の「CHECK」機能の一部として位置づけられるものである。各プログラムは、登録している学生をプログラムが描く人材へ向けて育成するための授業構成を呈しているが、その効果をさらに高めるためには、学生がそのプログラムをどのように捉えているかの実態を把握することが重要になる。そのためには、実際にプログラムに登録している学生の意見に耳を傾け、プログラムの改善を行うことが必要である。本学では、担当教員会のプログラムに対する認識を高め、カリキュラムや授業構成の改善に資するために、「プログラム評価アンケート」を実施する。

2. 実施主体

教育・国際室教育評価委員会（以下「委員会」という）が実施する。

3. 実施方法

「学生情報の森 もみじ」のアンケート機能を使用して実施する。

4. 実施対象教育プログラム

平成 24 年度（後期）の時点において、登録している 2 年生以上の学生がいる主専攻プログラムにおいて実施することを原則とする。

5. 実施時期

学生のアンケート回答期間は、平成 25 年 1 月 16 日（水）～平成 25 年 2 月 15 日（金）とする。

6. 調査項目

調査項目は委員会及び学士課程会議が策定したものとする。

7. 調査の対象学生

このアンケートは、本学が提供する主専攻プログラムに登録をした、学士課程 2 年生以上を対象とする。

8. 結果の集計・公表等

教育プログラム別、部局別及び全学平均の集計結果を学生情報の森 もみじにおいて、公表する。なお、公表開始日は、平成 25 年 2 月 18 日（月）とする。

9. 未回答者への督促

アンケートの回答率を上げて、アンケートの精度を高めるために、アンケートの回答期間内に、

未回答者に対して督促メールを2～3回程度送信し、回答を促す。なお、督促はアンケートの精度を高めるためであり、未回答者を特定することが目的ではない。

10. その他

- (1) 当アンケートは、本学が導入している「到達目標型教育プログラム」HiPROSPECTS[®]及び、各主専攻プログラムに対する学生の認識や意見等を把握し、HiPROSPECTS[®]の周知に向けた取り組み及び、各主専攻プログラムの到達目標や各主専攻プログラム内における授業の位置づけを見直し・改善に資することを目的としているため、他の目的には利用しない。
- (2) チューターや指導教員は「学生情報の森 もみじ」により学生の回答状況を把握し、アンケートに回答するように指導する。
- (3) この要綱に定めるもののほか、アンケート調査実施について必要な事項は、委員会が別に定める。